

拒絶理由通知書

P102-0288

特許出願の番号	特願2002-308389	
起案日	平成18年12月8日	
特許庁審査官	梅本 達雄	9648 5M00
特許出願人代理人	笹島 富二雄 様	
適用条文	第29条柱書、第29条第2項、第36条	

A50317
-USA

新田さん

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、下記の点で特許法第29条第1項柱書に規定する要件を満たしていないので、特許を受けることができない。

記

・備考

請求項1-6における動作の主体が特定されておらず、人間が行うものと解釈できる。よって、当該請求項の記載は人間が各ステップを実行する方法という「人間による方法」と解釈される。

ここで、請求項1-6に係る「人間による方法」とは、人間の手順すなわち人為的な取り決めであって、自然法則を利用したものではない。よって、請求項1-6には自然法則を利用したものが記載されていないから、特許法第2条に定義される「発明」に該当しない。

2. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

・備考

請求項1-6における動作の主体が特定されておらず、人間の手順すなわち人為的な取り決めであるのかの各手段が実行する手順なのかが明確でない。

請求項6において「前記利用頻度」と記載されているが、従属する請求項5を見ても前記されていない。